

もっと水道局のこと
知ってもらいたい!!

米子市水道局だより

vol.3
2024(令和6)年
9月

続 災害に強い水道をめざして取り組んでいます

いつ来るかわからないのが地震などの自然災害。災害時にも水が使えるよう、米子市水道局ではさまざまな取り組みをしています。また、皆さんができる日ごろからの備えもあります。水道局と一緒に災害に強い水道をつくりましょう！

① 水道管更新・耐震化



水道管の更新時には地震に強い管に交換しています。

経年化した水道管の更新や災害拠点病院につながる水道管の耐震化を進めています。現在、給水区域内の経年管の割合は17.5%(約227km)。1年間の更新率は0.8%にとどまっています。

※経年化した水道管は年々増えていきます※



② 水源地や配水池の耐震化



地震などによる水道施設の被害を最小限に抑えます。

耐震性能に不足が生じている水源地や配水池などの重要な施設の耐震補強工事を進めています。

※財源は水道料金収入で賄います※



③ 水道施設の長期停電対策



非常用発電設備を整えています。

水道水を作り、蛇口に届けるには電気が必要不可欠です。水道局では停電に備え、水源地やポンプ場などに非常用発電設備を設置しています。



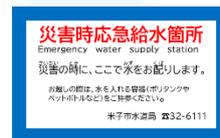
④ 応急給水拠点の整備

災害などにより断水したら、飲み水として水道水をお配りする場所です。

給水区域には5か所あります。(車尾水源地・戸上水源地・日吉津水源地・福井水源地・旧境港営業所)

※被害状況に応じて開設状況はホームページや防災無線などで順次お知らせします。

※このほか公民館、小中学校などに避難所が開設された場合は、災害の規模により給水車が出動します※



▲設置看板(日吉津水源地・福井水源地)

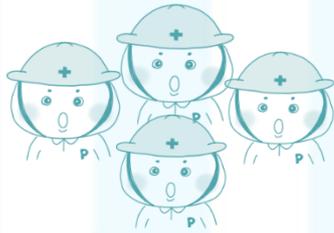
ご家庭で

⑤水の備蓄

家族の人数×3リットル×3日分の準備を

地震などの災害で断水した場合に備え、水の準備をして

おきましょう。1人が1日に必要とする水分は約3リットルです。



例えば…4人家族

×



×

3日分

=



36リットル

ご家庭で

⑥ローリングストック

日常生活で消費しながら備蓄しましょう



■捨てずに洗濯や掃除に利用

残留塩素がなくなると細菌が繁殖しやすくなるので、保存期間が過ぎたら新たな水道水に詰め替えます。交換した水は捨てずに、洗濯や掃除にお使いください。

使う

災害などに備えて飲み水や食べ物を保存し、交換時期が来たら使い、また新しいものを準備するという繰り返しを「ローリングストック」といいます。水道水なら、たくさんの準備・交換が手軽にできます。

水を入れる

保存

■フタのできる容器に保存

フタ付きの(ポリタンクやペットボトルなど)に、蛇口から直接水道水を注ぎます。なるべく空気に触れないよう、口元いっぱいまで水を満たします。

■沸かさず、浄水器は使わない!

沸かしてしまうと消毒の塩素が抜けてしまいます。浄水器の中には塩素を除去してしまうものがあるので、浄水器は使わず、水道水をそのままお使いください。



★ ■水道水の保管期間

- ★ 日光に当たらない冷暗所に保存します。
- 常温→3日程度
- 冷蔵庫→おおむね 10 日程度

ご家庭で

⑦飲料水を入れる容器の準備

応急給水を利用するときは、フタ付きの容器(ポリタンクやペットボトル)を用意ください。量が多くなると、**運搬用リュックやキャリーカート**があると便利です。



↓↓お問い合わせ↓↓

米子市水道局計画課

☎0859-32-6112(直通)

↓↓米子市水道局 URL↓↓

<https://www.city.yonago.lg.jp/suido/>



水道局HP



公式X



公式 YouTube